

特別勘定（世界分散型40CM/世界分散型20CM）

月次運用実績レポート

2008年11月

【利用する投資信託の委託会社】 中央三井アセットマネジメント株式会社

中央三井アセットマネジメント株式会社は、1999年7月に三信投資顧問株式会社と中信投資顧問株式会社が合併して誕生した投資信託委託会社です。現在、投資信託委託業務を中心に個人および法人のお客様に多様な商品サービスを提供しており、変額個人年金保険向け投資信託については特に力を入れています。

- ・アクサ フィナンシャル生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)終身D3型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート(2008年11月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社である中央三井アセットマネジメント株式会社が作成した運用環境を、
アクサ フィナンシャル生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

運用環境 [2008年11月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、海外需要の減少や円高によるトヨタ自動車の業績不振など、国内企業の大幅な業績悪化や米国景気の後退懸念などによる米国株式安を嫌気した売りから大きく下落しました。その後は、米国での追加金融対策などによる米国株式高や中国人民銀行による異例の大幅利下げを好感した買いから急反発するなど、米国の株価動向に振り回される値動きの荒い展開となりました。

【外国株式市場】

米国株式市場では、景気や企業業績に対する先行き悪化懸念、米3大自動車メーカーの経営危機や米金融機関の財務不安を背景に、NYダウは7,500ドル割れの水準まで急落しました。その後は、米国政府によるシテグループ救済策等により反騰するなど、値動きの荒い展開となりました。一方、欧州株式市場においても、景気後退懸念を背景に軟調に推移し、米国同様に値動きの荒い展開となりました。

【日本債券市場】

日本の長期金利は、海外経済の急速な景気後退、国内外での景況感の大幅な悪化などを背景に、国内景気下振れに対する警戒感是非常に強いものの、財政出動による国債増発懸念などから、リスク許容度が低下した投資家が様子見姿勢を続け、1.5%前後の狭いレンジ内で推移しました。しかしその後は、米国金利急低下を受け1.3%台まで低下するなど、金利は低下基調で推移しました。

【外国債券市場】

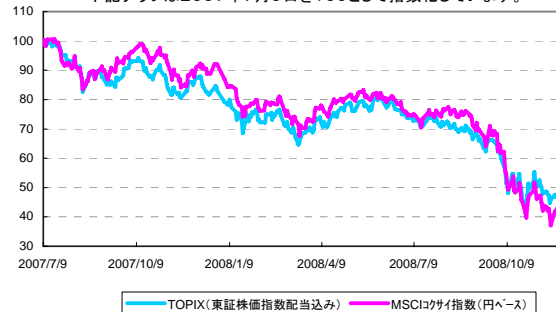
米国長期金利は、景気後退懸念や商品価格急落によるインフレ圧力の低下に加え、米金融機関の財務不安の再燃、米FRB(連邦準備制度理事会)のMBS(住宅ローン担保証券)買い取り発表による住宅金利の急低下を背景に、月末には3.0%を下回る過去最低水準まで急低下しました。他の主要国の長期金利も世界的な景気後退懸念などから、米国同様に大幅に低下しました。

【外国為替市場】

米ドル円為替は、月初に取引値ベースで100円台を回復することもありましたが、米国政府による不良債権買取り断念を受けて一時93円台に突入するなど、米国景気後退懸念などを背景に米国株式が軟調に推移したことから、投資家によるリスク資産回避や資金回収が続ぎ、円高地合いで推移しました。他通貨円為替でも、投資家のリスク回避から円高地合いで推移しました。

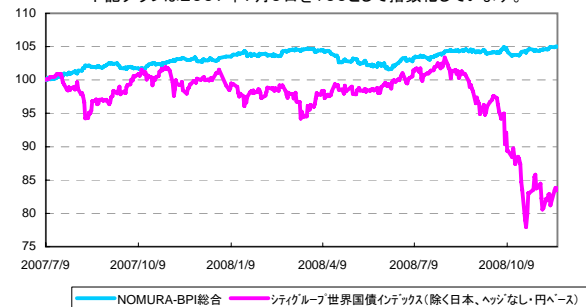
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2007年7月9日を100として指数化しています。

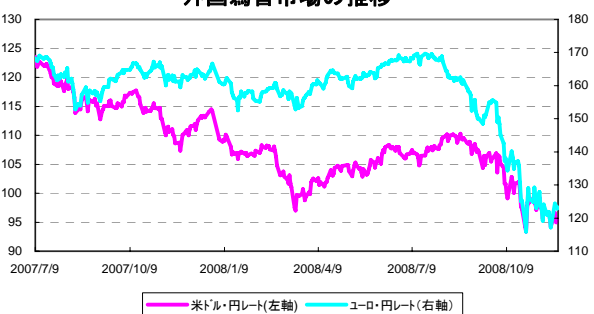


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2007年7月9日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移




出所：三菱東京UFJ銀行公表TTM


【取扱者(生命保険募集人)】

 中央三井信託銀行

【引受保険会社】

 **アクサ フィナンシャル生命保険株式会社**
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7
新宿ファーストウエスト10F
TEL 03-6911-9100(代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター

 **0120-933-399 (無料)**
9:00~18:00(土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート(2008年11月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である中央三井アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2008年11月末日現在]

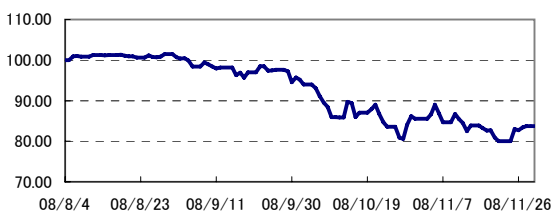
特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型40CM	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ない、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドの基本配分比率は以下の通りとし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行ないます。 中央三井日本株式マザーファンド20%、中央三井日本債券マザーファンド30%、中央三井外国株式マザーファンド20%、中央三井外国債券マザーファンド30% *1 *1: 当ファンドは、外貨建債券資産および中央三井外国債券マザーファンドの組入れに伴う実質組入外貨建資産の50%部分の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行ないます。 ● 実際の資産配分については、基本配分比率に対して一定の変動許容幅を設け、その範囲内で調整を行います。 ● 当ファンドの主なりリスク 株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、為替リスク
利用する投資信託	
中央三井VAポートフォリオ40 (適格機関投資家専用)	
特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界分散型20CM	<ul style="list-style-type: none"> 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ない、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドの基本配分比率は以下の通りとし、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行ないます。 中央三井日本株式マザーファンド10%、中央三井日本債券マザーファンド40%、中央三井外国株式マザーファンド10%、中央三井外国債券マザーファンド40% *2 *2: 当ファンドは、外貨建債券資産および中央三井外国債券マザーファンドの組入れに伴う実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対しては、原則として為替ヘッジを行ないます。 ● 実際の資産配分については、基本配分比率に対して一定の変動許容幅を設け、その範囲内で調整を行います。 ● 当ファンドの主なりリスク 株価変動リスク、金利変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク、為替リスク
利用する投資信託	
中央三井VAポートフォリオ20 (適格機関投資家専用)	

*「ファミリーファンド方式」とは、投資家から投資された資金をまとめてベビーフンドとし、その資金をマザーファンドに投資して、その実質的な運用はマザーファンドで行う仕組みのことをいいます。

■特別勘定のユニット・プライスの推移

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。

世界分散型40CM



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2008年8月4日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス	騰落率
2008年11月末	83.69 過去1ヶ月 ▲2.19%
2008年10月末	85.56 過去3ヶ月 ▲17.52%
2008年9月末	94.50 過去6ヶ月 —
2008年8月末	101.47 過去1年 —
—	過去3年 —
—	設定来 ▲16.31%

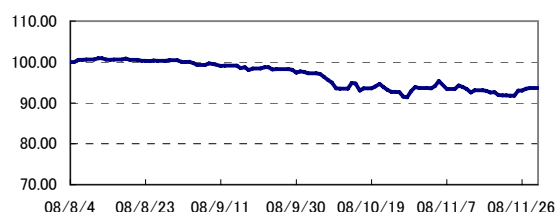
- 実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。
- 騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界分散型40CM	
	金額(千円)	比率
その他有価証券	4,566,814	96.9%
現預金・その他	144,998	3.1%
合計	4,711,812	100.0%

- 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
- 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

世界分散型20CM



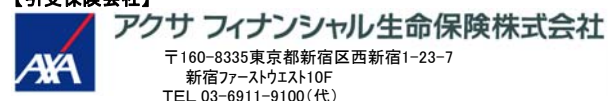
・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2008年8月4日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス	騰落率
2008年11月末	93.65 過去1ヶ月 0.03%
2008年10月末	93.61 過去3ヶ月 ▲6.78%
2008年9月末	97.42 過去6ヶ月 —
2008年8月末	100.46 過去1年 —
—	過去3年 —
—	設定来 ▲6.35%

【取扱者(生命保険募集人)】



【引受保険会社】



アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター

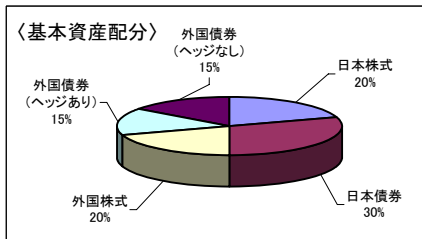
0120-933-399 (無料)
9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険(07) 終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート(2008年11月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である中央三井アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、中央三井アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

中央三井VAポートフォリオ40(適格機関投資家専用)の運用状況 [2008年11月末現在]

■ファンドの特色



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ない、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

中央三井日本株式マザーファンド: 「TOPIX(東証株価指数)」※1

※1ただし、配当込み指数を使用しています。

中央三井日本債券マザーファンド: 「NOMURA-BPI総合」

中央三井外国株式マザーファンド: 「MSCIコクサイ指数(円ベース)」※2

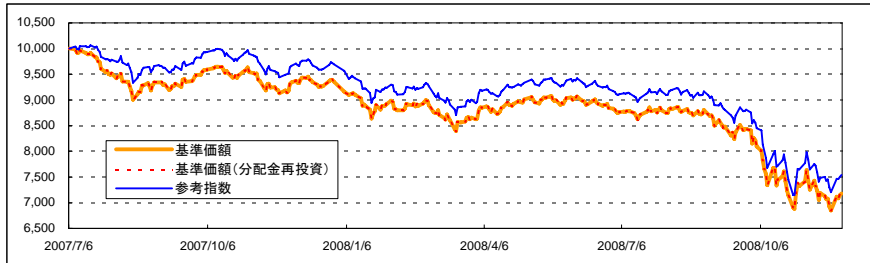
※2ただし、配当込み指数を使用しています。

中央三井外国債券マザーファンド: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」※3

※3「中央三井VAポートフォリオ40(適格機関投資家専用)」においては、中央三井外国債券マザーファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外貨建資産の50%部分について原則として為替ヘッジを行いますので、上記合成指数の算出に際しては「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」も併せて使用します。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



・グラフは、中央三井VAポートフォリオ40(適格機関投資家専用)の設定日(2007年7月9日)の前営業日を10,000として指数化しています。

・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.294%程度(税抜0.28%程度))控除後の値です。

・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

・参考指数は、TOPIX(東証株価指数)20%、NOMURA-BPI総合30%、MSCIコクサイ指数(円ベース)20%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)15%、およびシティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2008年11月28日	前月末	前月末比
基準価額	7,177円	7,320円	-143円
純資産総額(百万円)	14,434	13,743	+691

	基準価額	日付
設定来高値	9,991円	2007年7月9日
設定来安値	6,851円	2008年11月21日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
中央三井日本株式マザーファンド	20.0%	19.9%
中央三井日本債券マザーファンド	30.0%	29.7%
中央三井外国株式マザーファンド	20.0%	20.4%
中央三井外国債券マザーファンド(ヘッジあり)	15.0%	15.2%
中央三井外国債券マザーファンド(ヘッジなし)	15.0%	14.9%
コール・その他	0.0%	-0.1%
合計	100.0%	100.0%

・ファンドの資産構成は、当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)。

・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「コール・その他」の値がマイナスで表示されることがあります。

・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-1.95%	-18.47%	-20.56%	-23.19%	-	-28.23%
参考指数	-1.36%	-17.77%	-19.62%	-22.01%	-	-24.60%
差	-0.59%	-0.70%	-0.94%	-1.19%	-	-3.63%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

■分配金実績(税引前)

・下記は、1万円当たりの税引前分配金実績です。

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2008年2月21日	-	-	-	-	-	-
分配金	0.00円	-	-	-	-	-	0円

【取扱者(生命保険募集人)】

中央三井信託銀行

【引受保険会社】

アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7
新宿ファーストエスト10F
TEL 03-6911-9100(代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター

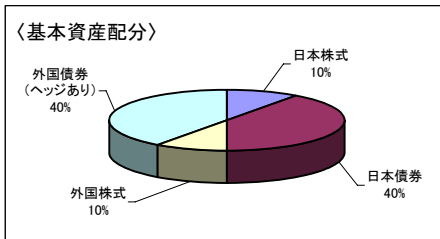
0120-933-399 (無料)
フリーコール 9:00~18:00(土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険(07) 終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート(2008年11月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である中央三井アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、中央三井アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

中央三井VAポートフォリオ20(適格機関投資家専用)の運用状況 [2008年11月末現在]

■ファンドの特色



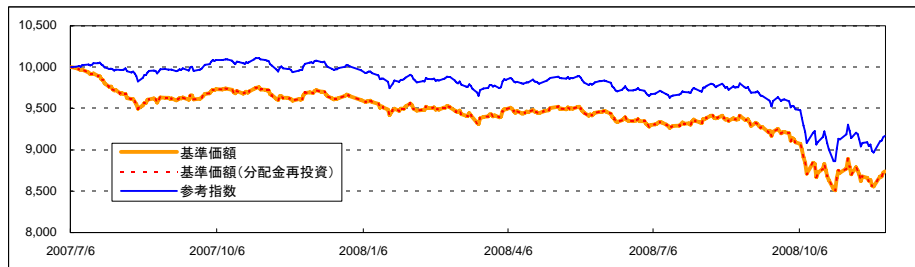
当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ない、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。

当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

- 中央三井日本株式マザーファンド: 「TOPIX(東証株価指数)」※1
- ※1ただし、配当込み指数を使用しています。
- 中央三井日本債券マザーファンド: 「NOMURA-BPI総合」
- 中央三井外国株式マザーファンド: 「MSCIコクサイ指数(円ベース)」
- 中央三井外国債券マザーファンド: 「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」※2
- ※2「中央三井VAポートフォリオ20(適格機関投資家専用)」においては、中央三井外国債券マザーファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入れ外資産について原則として為替ヘッジを行いますので、上記合成指数の算出に際しては「シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」を使用します。

■基準価額の推移

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、中央三井VAポートフォリオ20(適格機関投資家専用)の設定日(2007年7月9日)の前営業日を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.294%程度(税抜0.28%程度))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数)10%、NOMURA-BPI総合40%、MSCIコクサイ指数(円ベース)10%、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)40%で組み合わせた合成指数です。

■概況

	2008年11月28日	前月末	前月末比
基準価額	8,738円	8,725円	+13円
純資産総額(百万円)	1,250	1,201	+48

	基準価額	日付
設定来高値	9,991円	2007年7月9日
設定来安値	8,512円	2008年10月28日

■資産構成

	基本配分比率	ファンドの資産構成
中央三井日本株式マザーファンド	10.0%	9.9%
中央三井日本債券マザーファンド	40.0%	39.5%
中央三井外国株式マザーファンド	10.0%	10.2%
中央三井外国債券マザーファンド(ヘッジあり)	40.0%	40.5%
コール・その他	0.0%	-0.1%
合計	100.0%	100.0%

- ファンドの資産構成は、当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「コール・その他」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

■騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	+0.15%	-7.15%	-7.52%	-9.79%	-	-12.62%
参考指数	+0.45%	-6.46%	-6.59%	-8.69%	-	-8.31%
差	-0.30%	-0.69%	-0.93%	-1.10%	-	-4.31%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。

■分配金実績(税引前)

・下記は、1万円当たりの税引前分配金実績です。

	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2008年2月21日	-	-	-	-	-	-
分配金	0.00円	-	-	-	-	-	0円

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【取扱者(生命保険募集人)】



【引受保険会社】

アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
 〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7
 新宿ファーストウエスト10F
 TEL 03-6911-9100(代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター

0120-933-399 (無料)
 フリーコール 9:00~18:00(土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険(07)終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート(2008年11月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である中央三井アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、中央三井アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

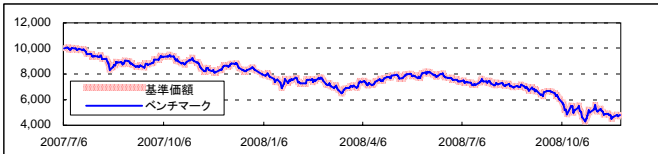
各マザーファンドの運用状況 [2008年11月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

中央三井日本株式マザーファンド

※ ベンチマーク/BM: TOPIX(東証株価指数配当込み)

純資産総額: 209,901 百万円



・2007年7月9日の前営業日を10,000として指数化しています。

・下記比率は、純資産総額に対する当該評価金額等の比率となります。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,608 銘柄

順位	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.49%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.57%
3	日本電信電話	情報・通信業	1.71%
4	東京電力	電気・ガス業	1.62%
5	本田技研工業	輸送用機器	1.62%
6	武田薬品工業	医薬品	1.59%
7	キヤノン	電気機器	1.48%
8	任天堂	その他製品	1.42%
9	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	情報・通信業	1.40%
10	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.31%
合計			18.20%

騰落率

ファンド	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-3.52%	-32.91%	-40.12%	-44.37%	-	-51.83%
ベンチマーク	-3.72%	-32.92%	-40.18%	-44.45%	-	-51.91%
差	+0.20%	+0.01%	+0.06%	+0.07%	-	+0.08%

- 騰落率は、2007年7月9日以降の情報について記載しています。
- 設定来の騰落率は、2007年7月9日の前営業日を起点として計算しています。

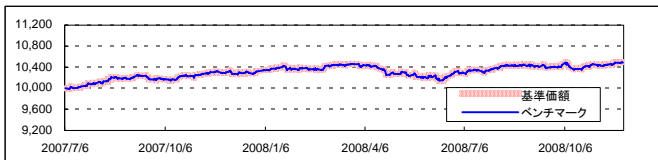
組入上位10業種

順位	業種	比率	BM構成比
1	電気機器	11.28%	11.68%
2	銀行業	9.79%	10.16%
3	輸送用機器	7.69%	7.97%
4	電気・ガス業	6.67%	6.91%
5	情報・通信業	6.40%	6.63%
6	化学	5.33%	5.51%
7	医薬品	5.08%	5.27%
8	陸運業	4.74%	4.92%
9	小売業	3.99%	4.12%
10	機械	3.85%	3.99%
合計		64.82%	67.18%

中央三井日本債券マザーファンド

※ ベンチマーク/BM: NOMURA-BPI総合

純資産総額: 221,606 百万円



・2007年7月9日の前営業日を10,000として指数化しています。

・下記比率は、純資産総額に対する当該評価金額等の比率となります。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 757 銘柄

順位	銘柄	クーポン	償還日	比率
1	利付国庫債券(10年)第286回	1.800%	2017年6月20日	1.14%
2	利付国庫債券(5年)第60回	1.200%	2011年9月20日	1.05%
3	利付国庫債券(10年)第284回	1.700%	2016年12月20日	1.02%
4	利付国庫債券(10年)第285回	1.700%	2017年3月20日	0.94%
5	利付国庫債券(10年)第296回	1.500%	2018年9月20日	0.91%
6	利付国庫債券(5年)第50回	0.800%	2010年9月20日	0.91%
7	利付国庫債券(10年)第288回	1.700%	2017年9月20日	0.89%
8	利付国庫債券(5年)第63回	1.200%	2012年3月20日	0.87%
9	利付国庫債券(10年)第234回	1.400%	2011年9月20日	0.85%
10	利付国庫債券(10年)第272回	1.400%	2015年9月20日	0.84%
合計				9.42%

・「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

騰落率

ファンド	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	+0.34%	+0.41%	+2.77%	+1.91%	-	+4.99%
ベンチマーク	+0.30%	+0.37%	+2.72%	+1.85%	-	+4.91%
差	+0.05%	+0.04%	+0.05%	+0.06%	-	+0.08%

- 騰落率は、2007年7月9日以降の情報について記載しています。
- 設定来の騰落率は、2007年7月9日の前営業日を起点として計算しています。

債券種別資産構成比

種別	比率	BM構成比
国債	71.94%	73.94%
地方債	6.33%	6.13%
政府保証債	5.58%	5.53%
金融債	2.37%	2.27%
事業債	9.80%	9.78%
円建外債	0.74%	0.90%
MBS債	1.53%	1.29%
ABS債	0.00%	0.16%
コール・その他	1.72%	0.00%
合計	100.00%	100.00%

ポートフォリオプロフィール

償還日	ファンド	BM	差
平均複利回り	1.16%	1.19%	-0.03%
平均クーポン	1.58%	1.58%	0.00%
平均残存年数	7.41	6.87	0.54
デュレーション	6.29	6.15	0.14

- 利回り・残存年数は、債券現物部分について計算しております。
- 「複利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- 「デュレーション」とは、投資した債券の利子及び元本の平均回収期間を表す指標です。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【取扱者(生命保険募集人)】



【引受保険会社】



アクサ フィナンシャル生命保険株式会社

〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7
新宿ファーストエイト10F
TEL 03-6911-9100(代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター



0120-933-399 (無料)

9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険(07) 終身D3型 特別勘定の月次運用実績レポート(2008年11月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)終身D3型のリスク及び諸費用について」を8/8ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社である中央三井アセットマネジメント株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、中央三井アセットマネジメント株式会社による運用報告を、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

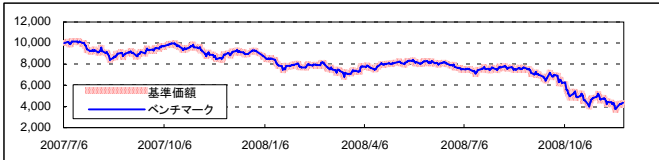
各マザーファンドの運用状況 [2008年11月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

中央三井外国株式マザーファンド

※ ベンチマーク/BM: MSCIコクサイ指数(円ベース
ス配当込み)

純資産総額: 249,742 百万円



・ 2007年7月9日の前営業日を10,000として指数化しています。

・ 下記比率は、純資産総額に対する当該評価金額等の比率となります。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,353 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	比率
1	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	2.78%
2	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	1.23%
3	GENERAL ELECTRIC	アメリカ	資本財	1.12%
4	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.11%
5	AT&T INC	アメリカ	電気通信サービス	1.11%
6	CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	1.09%
7	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・化粧品/ヘルスケア	1.08%
8	BP PLC	イギリス	エネルギー	1.01%
9	NESTLE SA-REGISTERD	スイス	食品・飲料・タバコ	0.90%
10	WAL-MART STORES	アメリカ	食品・生活必需品小売り	0.89%
合計				12.31%

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-9.37%	-43.15%	-47.32%	-51.33%	-	-56.55%
ベンチマーク	-8.54%	-43.19%	-47.17%	-50.99%	-	-56.31%
差	-0.82%	+0.04%	-0.14%	-0.34%	-	-0.24%

- ・ 騰落率は、2007年7月9日以降の情報について記載しています。
- ・ 設定来の騰落率は、2007年7月9日の前営業日を起点として計算しています。

組入上位10業種

順位	業種	比率	BM構成比
1	エネルギー	13.32%	13.07%
2	医薬品・ハイテク/ロジック・ライフサイエンス	8.72%	9.28%
3	銀行	7.35%	8.24%
4	資本財	6.74%	7.07%
5	食品・飲料・タバコ	6.16%	6.59%
6	素材	5.15%	5.54%
7	公益事業	5.08%	4.98%
8	電気通信サービス	4.98%	4.69%
9	各種金融	4.51%	5.70%
10	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.48%	4.83%
合計		66.48%	70.00%

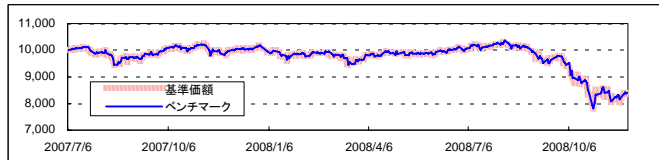
組入上位10カ国

順位	国名	比率
1	アメリカ	53.90%
2	イギリス	10.25%
3	フランス	5.20%
4	カナダ	4.19%
5	ドイツ	4.10%
6	スイス	3.97%
7	オーストラリア	2.73%
8	スペイン	2.09%
9	イタリア	1.77%
10	オランダ	1.23%

中央三井外国債券マザーファンド

※ ベンチマーク/BM: シティグループ世界国債イン
デックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)

純資産総額: 418,093 百万円



・ 2007年7月9日の前営業日を10,000として指数化しています。

・ 下記比率は、純資産総額に対する当該評価金額等の比率となります。

組入上位10銘柄

組入銘柄数: 432 銘柄

順位	銘柄	国名	クーポン	償還日	比率
1	US TREASURY N/B 4	アメリカ	4.000%	2010年3月15日	1.20%
2	US TREASURY N/B 3.5	アメリカ	3.500%	2009年11月15日	1.17%
3	DEUTSCHLAND REP 5	ドイツ	5.000%	2012年7月4日	0.89%
4	US TREASURY N/B 3.625	アメリカ	3.625%	2010年6月15日	0.81%
5	US TREASURY N/B 4.625	アメリカ	4.625%	2011年8月31日	0.80%
6	US TREASURY N/B 4.75	アメリカ	4.750%	2014年5月15日	0.77%
7	DEUTSCHLAND REP 3.75	ドイツ	3.750%	2015年1月4日	0.77%
8	DEUTSCHLAND REP 5	ドイツ	5.000%	2011年7月4日	0.76%
9	US TREASURY N/B 5.125	アメリカ	5.125%	2016年5月15日	0.72%
10	DEUTSCHLAND REP 5	ドイツ	5.000%	2012年1月4日	0.70%
合計					8.60%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受けられる利息の割合のことで表面利率をあらわします。

騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	+0.32%	-16.59%	-15.05%	-15.97%	-	-16.00%
ベンチマーク	+0.90%	-16.74%	-14.87%	-15.70%	-	-15.93%
差	-0.58%	+0.15%	-0.17%	-0.27%	-	-0.07%

- ・ 騰落率は、2007年7月9日以降の情報について記載しています。
- ・ 設定来の騰落率は、2007年7月9日の前営業日を起点として計算しています。

組入上位10カ国

順位	国名	比率
1	アメリカ	31.19%
2	ドイツ	12.61%
3	イタリア	11.88%
4	フランス	10.46%
5	イギリス	8.67%
6	スペイン	4.08%
7	ベルギー	3.32%
8	オランダ	2.62%
9	ギリシャ	2.56%
10	カナダ	2.27%

ポートフォリオプロフィール

	償還日	ファンド	BM	差
平均複利回り		3.04%	2.99%	0.04%
平均クーポン		4.82%	4.54%	0.29%
平均残存年数		8.63	8.47	0.17
デュレーション		6.24	6.30	-0.05

- ・ 利回り・残存年数は、債券現物部分について計算しております。
- ・ 「複利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・ 「デュレーション」とは、投資した債券の利子及び元本の平均回収期間を表す指標です。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【取扱者(生命保険募集人)】



【引受保険会社】



アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター

0120-933-399 (無料)
9:00~18:00 (土日祝日および12月31日~1月3日を除く)

変額個人年金保険 (07) 終身D3型のリスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

- ・この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- ・特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあります。
- ・特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ・運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- ・特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待どおりでなかった場合でも、アクサ フィナンシャル生命、アクサ フィナンシャル生命の募集代理店および第三者が、ご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

【諸費用について】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。
一般勘定で運用する年金の支払期間中には、「年金管理費」をご負担いただきます。

【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用	一時払保険料に対して 5.0% 特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

【積立期間(運用期間)中および特別勘定終身年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用	特別勘定の積立金額に対して 年率2.55% 積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用等に必要の費用	投資信託の純資産額に対して 年率0.294%程度(税抜0.28%程度)* 特別勘定にて利用する投資信託における純資産総額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- * 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。
信託報酬の他、お客様にご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客様はこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用関係費は、運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更となる可能性があります。

【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

※ 一般勘定で運用する年金とは、確定年金・保障期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・一時金付終身年金を意味します(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0%* 年金支払日に責任準備金から控除します。

- * 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

この商品にかかわる費用の合計額は「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額となります。
一般勘定で運用する年金の支払期間中は、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

【その他の留意事項について】

■受取総額保証金額

受取総額保証金額の最低保証は、年金を特別勘定終身年金でお受け取りいただく場合に限られます。特別勘定終身年金以外の方法でお受け取りいただく場合や、積立期間中にご契約を解約される場合、もしくは年金受取期間中に積立金額を一括でお受け取りいただく場合には、お受け取りになる金額が一時払保険料を下回る場合があります。

【取扱者(生命保険募集人)】



【引受保険会社】

アクサ フィナンシャル生命保険株式会社
〒160-8335 東京都新宿区西新宿1-23-7
新宿7-ストリート10F
TEL 03-6911-9100(代)

アクサ フィナンシャル生命カスタマーサービスセンター

0120-933-399 (無料)
9:00~18:00(土日祝日および12月31日~1月3日を除く)